

地方の一法人一保育所の新たな決断

社会福祉法人 和幸園（合併前：社会福祉法人青森和幸会、社会福祉法人和幸園）（青森県）

住 所	青森県青森市大字矢田字下野尻 4 8 - 3（和幸園法人本部） 青森県青森市長島 2 - 1 - 1 2（旧・青森和幸会）
TEL	017-737-3333（和幸園法人本部） 017-776-4826（旧・青森和幸会）
URL	http://www.wakouen.or.jp/ （和幸園） http://www.aomori-wako.com/ （旧・青森和幸会）
経 営 理 念	社会福祉法人和幸園の基本理念 人を敬い、人を育て、福祉を拓く 世代を超えて、みんなが安心して暮らせる社会を創る 社会の幸せを求め、地域に信頼され、地域と共に歩む

事業内容及び定員	特別養護老人ホーム和幸園 短期入所生活介護（ショートステイ） デイサービスセンター和幸 訪問介護事業所 ヘルパーステーション和幸 認知症対応型共同生活介護事業所グループホーム千代の郷 居宅介護支援事業所 2カ所 在宅介護支援センター和幸・和幸園ケアセンター 在宅介護支援センター事業 在宅介護支援センター和幸 ケアハウス幸徳 地域密着型特定施設入居者生活介護ケアハウス幸陽 軽費老人ホーム和幸園（A型） 地域密着型介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム大野和幸園 青森市東青森地域包括支援センター	利用定員 110名 2カ所 2カ所（矢田・佃） 2カ所（矢田・佃） 利用定員 9名 和幸園ケアセンター 利用定員 20名 利用定員 29名 利用定員 60名 利用定員 29名（ユニット型 20名、従来型 9名）
	以上 旧・和幸園事業	
事業内容及び定員	認可保育所 和幸保育園 内、本園 0歳児 15名、1歳～5歳児 各 30名 中新町まちなか乳児室（分園）0歳児 35名 当該年度生まれ入所枠 20名を確保 延長保育 1時間・2時間・3時間 休日保育 年末年始保育 地域子育て拠点事業 地域子育て支援センター 一時預かり事業（一般型） 休日も実施	利用定員 200名
	以上 旧・青森和幸会事業	
収入 （法人全体） 平成27年度決算	旧・和幸園 事業活動収入 1,171,720,000円 旧・青森和幸会 事業活動収入 205,166,000円 合計 1,376,886,000円	
職員数 （法人全体）	旧・和幸園 232名 旧・青森和幸会 53名 285名（非常勤含む）	
当面する 経営課題	各施設・拠点毎の質の向上 各地域毎のニーズ・状況の収集 法人本部機能の強化 各施設・拠点・地域との連携強化 人材育成と確保 総務・労務・人事の集約・効率化	

取り組みに
着手した
理由、背景

小規模法人としては、子ども子育て新制度を前に、あらためて、地域やふるさとを考え
たとき、このままではこの街と共に衰退を続け、いずれ規模縮小、閉鎖、解散もとの不安
が現実味を増してきた。

また、吸収側の法人も郊外型高齢事業のみの事業形態に閉塞感を感じ始めていた。

加えて両法人とも同族経営、固定慢性化した人材に、次世代の経営者、幹部職員育成等
に同様の危機感を抱いていた。

自治体消滅も揶揄される地方都市で、ふるさとを守り地域と共に今後も福祉事業を提供
し続けるために何をなすべきかという観点で、両法人が奇しくも同時期に合併を考え、着
手に至った。

人口減少社会の中、地方都市の中で子育て支援施設として自施設は何ができるのか、何
をするべきかを考えたとき、施設の成り立ち、歴史、実績から自分たちにしかできない挑
戦を考え着手したのが中心商店街のマンションテナントでのまちなか乳児室という分園で
あった。

地方の小規模法人が、同じ時期に2つの決断を取り組みことになったのは、地方都市が
抱える共通の問題によるところが大きく、生き残りのための取り組み事例として紹介させ
ていただきたい。

取り組みの
現時点
での効果

本年度、7月、8月の実施なので明確な効果は定かではないが、今後、新しく生まれ変
わった法人として、大きくなった財政基盤を元に、法人本部機能の強化、人材育成と確保、
幅広いエリアでの複合的サービス・情報提供を行っていく予定。



地方の —法人—保育所の 新たな決断

社会福祉法人和幸園
(旧 社会福祉法人青森和幸会)

地方 小規模法人の2つの決断 いままでの成り立ち

昭和42年、社会福祉法人和幸園の第2の施設として、青森県庁から100mの距離に、東北初の乳児専門保育所として和幸保育園は誕生した。

昭和48年、3歳以上児になり転所するのは大変との要望に応え、全面改築し、生後43日から就学前までの現在の形態、建物となる。

昭和56年、それぞれの専門性の追求を掲げ、法人分割を行って青森和幸会が誕生。

地方 小規模法人の2つの決断 いままでの成り立ち

以降、35年間、青森県県都青森市の中心部の子育て支援拠点・まちなか保育所として、事業内容を増やし、利用定員を増やししながら現在に至る。

新制度を前に、あらためて、地域やふるさとを考えたとき、このままではこの街と共に衰退を続け、いずれ規模縮小、閉鎖、解散もとの不安が現実味を増してきた。

地方 小規模法人の2つの決断 いままでの成り立ち

そこで、この度、「法人合併」「中心商店街・まちなか乳児室(分園)開設」という2つの決断を下し、平成28年7月法人合併、平成28年8月中新町まちなか乳児室(分園)開設に至りました。

今回、地方の一法人一保育所法人の新たな決断を経営事例としてお伝えいたします。

青森市

- 青森県の県都、本州最北の中核市
- ねぶた祭り、三内丸山縄文遺跡が有名
- 北に陸奥湾、南に八甲田、自然に恵まれた街
- 世界最高規模の豪雪都市
- 男性135,305人、女性155,416人、計290,721人、136,191世帯の街
- リンゴやカシスの農作物、ホタテやなまこの海産物が有名。

そんな青森市の保育状況1

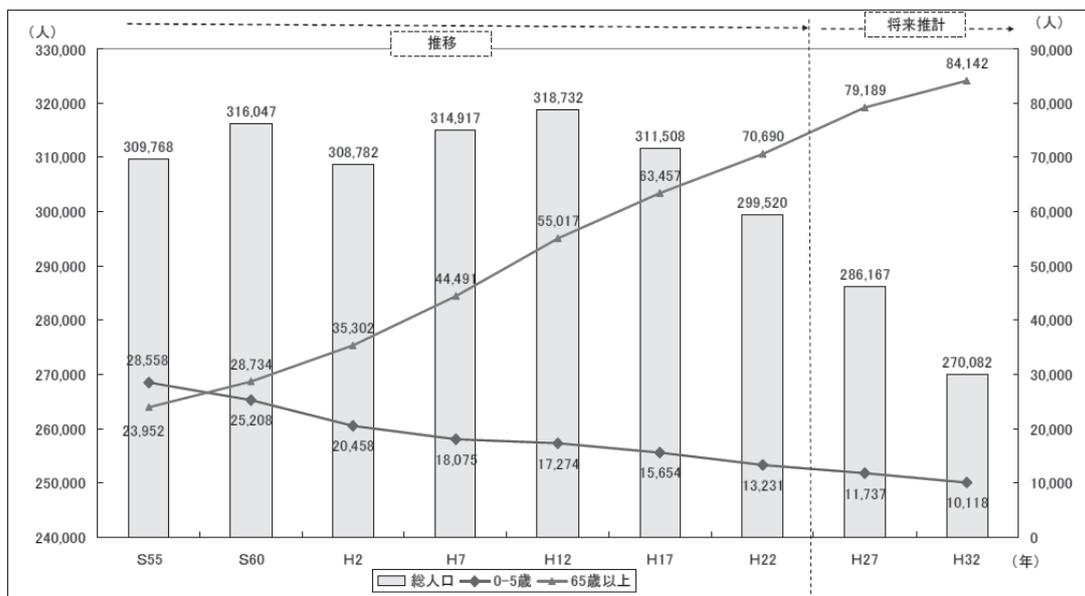
- 少子高齢化が進行。人口減少中
- ドーナツ化現象で郊外に夜間人口が分散
- 毎年250名前後の就学前児童が減少中
- 保育所利用率約50%の街
- 幼保連携型認定こども園31箇所
- 認可保育所68箇所
- 小規模保育事業所1箇所
- 新制度に移行しない幼稚園8箇所
- 新制度に移行した幼稚園9箇所

H28/04/01

そんな青森市の保育状況2

- 4月時点の待機児童0
- 6月以降3号子ども、特に乳児の入所先が不足
- 8月以降、特に年度途中生まれの乳児受け入れ先が少なく、待機が出始める

青森市の人口推移及び人口推計

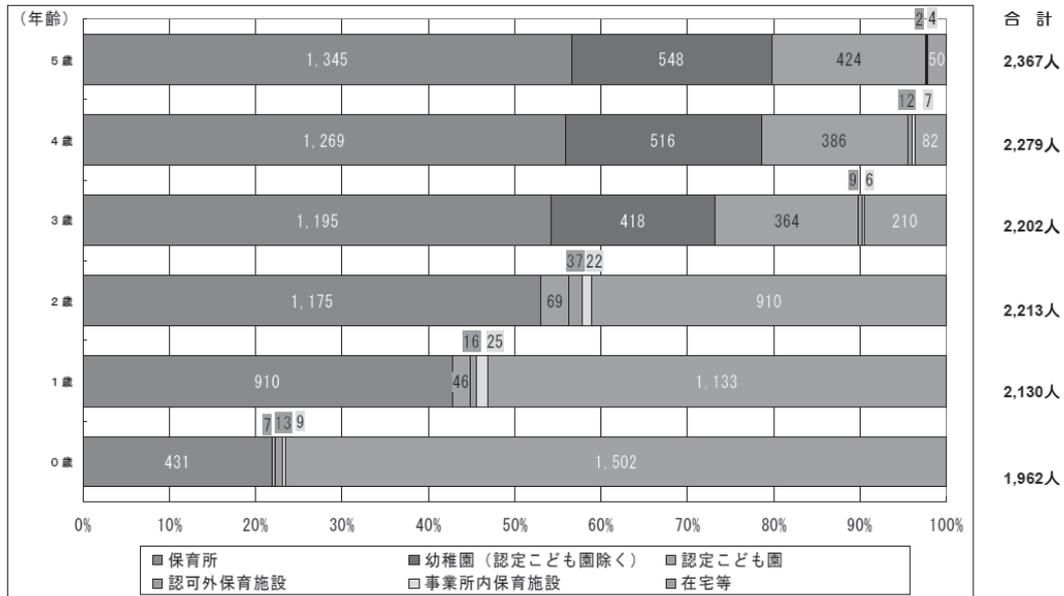


※平成22年までの人口は、国勢調査による。

※平成27年及び平成32年の総人口及び65歳以上人口は、青森市新総合計画の推計値による。

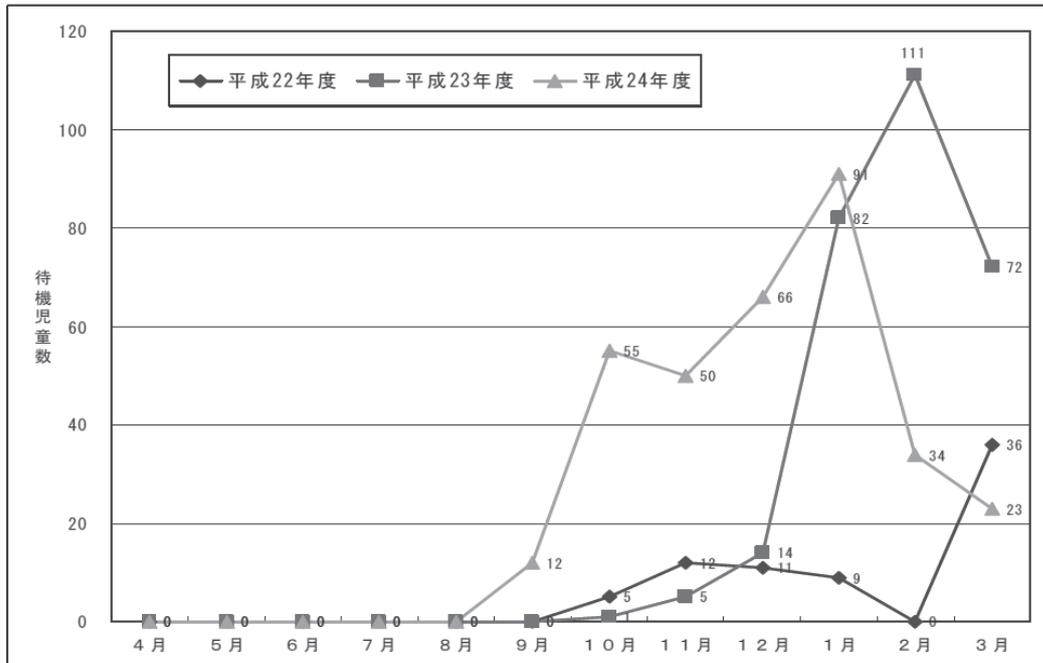
※平成27年及び平成32年の0~5歳人口は、青森市新総合計画の推計値を基に健康福祉部の試算による。

青森市の未就学児童の教育・保育の利用状況



※保育所は平成25年4月1日現在、幼稚園は平成25年5月1日現在、認定こども園、認可外保育施設及び事業所内保育施設は平成25年6月1日現在の入所児童数であり、年齢の合計児童数は、平成25年4月30日現在の児童数である。
 ※在宅等の児童数は、年齢の合計児童数から、保育所、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設及び事業所内保育施設の入所児童数を引いたものである。

青森市の保育所待機児童数の推移（月別）



※「待機児童」とは、調査日時において、入所が提出されており、入所要件に満たしているが、入所していない児童のこと。ただし、他に入所可能な保育所があるにもかかわらず、特定の保育所を希望し、保護者の私的な理由により待機している場合は含まない。

都道府県・政令指定都市・中核市別 保育園待機児童数 集約表

都道府県	待機児童数		年度途中の数		差引 10月-4月	政令指定都市 中核市	待機児童数		年度途中の数		差引 10月-4月
	H27.4.1 人	(参考)地方 単独保育施設 人	H27.10.1 人	(参考)地方 単独保育施設 人			H27.4.1 人	(参考)地方 単独保育施設 人	H27.10.1 人	(参考)地方 単独保育施設 人	
1 北海道	56	15	151	63	95	48 札幌市	69	30	678	24	609
2 青森県	0	224	68	171	68	49 仙台市	419	130	737	215	318
3 岩手県	119	22	534	0	415	50 さいたま市	95	615	369	813	274
4 宮城県	507	53	903	74	396	51 千葉市	0	16	384	171	384
5 秋田県	37	13	62	24	25	52 横浜市	8	926	292	1,454	284
6 山形県	0	23	115	72	115	53 川崎市	0	1,342	89	1,600	89
7 福島県	354	0	502	0	148	54 相模原市	0	218	64	226	64

0	67	熊本市	397	0	96	0	▲ 301
8		政令指定都市計	2,081	3,466	5,803	4,884	3,722
68	68	旭川市	57	33	141	59	84
54	69	函館市	0	0	0	0	0
14	70	青森市	0	0	69	0	69
43	71	盛岡市	9	0	198	0	189
52	72	秋田市	0	5	56	12	56
35	73	郡山市	26	0	57	0	31
09	74	いわき市	21	0	40	0	19

そんな街の 一法人一保育所経営者の憂鬱1

1. 毎年、確実に累計利用者数が減少
2. いつまで現行規模で施設を維持できるか不安
3. 将来、改築・建て替えが可能なのか
4. 安定雇用、人材確保・育成ができるのか
5. 施設が低迷したとき社会福祉法人はどうなるのか
6. いま預かっている子どもが成人するまでこの街は残っているのか

そんな街の 一法人一保育所経営者の憂鬱2

7. 現在、3階に乳児室を設置しているが、3. 1
1以降、安全安心な避難に苦慮
8. まちなか施設なので園庭が少なく屋上園庭
を活用している。新制度では特例で認定こど
も園に移行できるが、同規模の建て替えが
できなくなり移行できない
9. 認定こども園に移行できなくて、子育て支援
施設として生き残れるのか

社会福祉法人として何ができるか 何をすべきか

- 子育て支援が充実していない街には子育て
世代が住まない。街を守るために、需要の有
無にかかわらず、子育て支援サービスを継続
する
- 単にサービスを残すだけでなく、他法人・施設
と連携し、年齢、ニーズに合わせた質の高い
サービスを目指す
- 連携は内容や量のみでなく、サービス実施時
間や実施エリアでも高次元を目指す

社会福祉法人として何ができるか 何をすべきか

- 常に安定した雇用の確保を目指す
- 福祉の専門家集団として人材確保・育成を行う
- 連携・協働等により、種別専門性の向上、また、種別を越えた幅広いサービス・情報を目指す
- 故郷で必要とされるサービスを考え、実施する

今、自分たちは何をすべきか その具体策とは・・・私達の答え

- 安定且つ高次元のインフラ確保
- 人材育成・確保
- 広範囲でのサービス提供
- 他種別でのサービス提供
- 専門性の追求と複合的な情報・サービスの提供
- 安定した財政基盤の確保

法人合併という選択

法人合併

- 元々、同一法人で、専門性追求のため法人分割した兄弟法人との再合併を実施
平成28年7月合併
- 経営良好法人同士の吸収合併を選択
- 法人改革の新役員選任を意識し、とりあえず吸収法人既存役員のまま合併
- 合併後吸収法人の本部機能強化を図る
- 安定・拡大した財政基盤で事業をすすめる

合併法人現況報告抜粋 青森和幸会分

社会福祉法人現況報告書
平成 28 年4月1日現在

I 基本情報									
所轄庁	市								
法人名	社会福祉法人青森和幸会	法人番号	平 030 - 0861	所在地	青森市長島2丁目1番地12	電話番号	017 - 776 - 4826	FAX番号	017 - 776 - 1940
ホームページアドレス	http://www.aomori-wako.com/	メールアドレス	wako@actv.ne.jp	設立認可年月日	昭和56年5月8日	設立登記年月日	昭和56年6月10日		
代表者	氏名	年齢	性別	住所	職業	就任年月日			
	今村 良司	53	非公表	青森市自由ヶ丘二丁目16番地の22	和幸保育園 園長	平成12年8月8日			

II 事業									
社会福祉事業	種類	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	定員	実施形態			
						公表/非公表	各分野の事業が同一施設(敷地)で実施 全ての事業が同一施設(敷地)で実施		
児童福祉	第一種								
	第二種	保育所	和幸保育園	公表	青森市長島2丁目1番地12	昭和56年6月1日	190		
	第三種	地域子育て支援拠点事業	和幸保育園	公表	青森市長島2丁目1番地12	平成21年4月1日			
老人福祉	第一種	一時預かり事業	和幸保育園	公表	青森市長島2丁目1番地12	平成21年4月1日			
	第二種								

IV 資産管理									
不動産の所有状況	所在地	面積	評価額(千円)	担保提供の状況					
				提供年月日	借入額(千円)	借入先	償還期限	所轄庁の承認の有無	
基本財産	土地	青森市長島2丁目1番地12	500.49㎡	75,273					
	土地	青森市長島2丁目1番地11	118.40㎡	7,526					
	建物	青森市長島2丁目1番地12	829.71㎡	15,961					
遊休資産	土地								

合併法人現況報告抜粋 青森和幸会分

平成 27 年度の法人の経営状況 (総括表)

1. 法人単位の資金収支の状況

項目	金額(千円)
(1) 事業活動資金収支差額	10,999
① 事業活動収入	205,166
・保育事業収入(※)	204,897
・受取利息配当金収入(※)	37
・その他収入	230
② 事業活動支出	194,166
・人件費支出	161,566
・事業費支出	22,569
・事務費支出	10,030
(2) 施設整備等資金収支差額	▲ 1,604
① 施設整備等収入	0
② 施設整備等支出	1,604
(3) その他の活動資金収支差額	▲ 9,319
① その他の活動収入	613
② その他の活動支出	9,933
当期末資金収支差額	75
前期末支払資金残高	44,665
当期末支払資金残高	44,740

(※) 医療事業収入分を除く。(社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。)

(※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2. 法人単位の事業活動の状況

項目	金額(千円)
(1) サービス活動増減差額	5,628
① サービス活動収益	204,897
② サービス活動費用	199,268
減価償却費	5,344
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 1,061
その他サービス活動費用	194,986
(2) サービス活動外増減差額	268
① サービス活動外収益	230
② サービス活動外費用	0
(3) 特別増減差額	0
① 特別収益	0
② 特別費用	0
当期活動増減差額	1,984
前期繰越活動増減差額	44,041
当期末繰越活動増減差額	46,025
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	8,500
次期繰越活動増減差額	37,525

(※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3. 法人単位の資産等の状況

項目	金額(千円)
(1) 資産の部	335,254
① 流動資産	50,941
② 固定資産	284,313
(2) 負債の部	21,977
① 流動負債	6,201
② 固定負債	15,776
(3) 純資産の部	313,276
減価償却累計額	117,892

(※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

合併法人現況報告抜粋 青森和幸会分

4. 積立金の状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	本年度末時点の積立金額(千円)	積立計画の有無	積立目標額(千円)	施設整備の場合		
					整備事由	整備時期	整備対象施設名
人件費積立金	人件費に係る支出に対応する	53,527					
保育所施設・設備整備積立金	老朽化、耐震等、修繕及び建て替え等の建物・設備に係る支出に対応する	92,121			建替	平成38年頃	和幸保育園
法人運営積立金	社会貢献や新規事業等、施設経営とそれ以外の事業の資金として活用する。	11,451					

6. 地域の福祉ニーズへの対応状況

事業概要	実施の有無	事業開始年度	本年度支出額(千円)
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免			
2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施			
3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施			
4 災害時における各種支援活動の実施			
5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施			
6 他法人との連携による人材育成事業			
7 その他 (青森市、地区認可保育所16園、青森市の子育て支援ボランティア組織「子育て応援隊」と協働して地区エリア内で行う春森市子育てひろば等の子育て支援を展開)	○	平成19年	—
(近隣地域の除雪・融雪・排雪支援を実施)	○	平成24年	—
(高等学校のボランティアクラブとの連携による通年のボランティア支援・育成を実施)	○	平成11年	—
(独自の地域ネットワークを作り、定期的な会議、講座、勉強会等を実施)	○	平成11年	—
(独自のボランティア組織・和幸保育園推進委員会をおき、地域と一体の子育て支援活動)	○	平成6年	—
(行政の委員会・協議会、福祉関連団体等へ委員・役員として参加 その他、第三者評価調査者派遣等、地域福祉向上へ協力)	○	平成6年	—
(園庭、屋上園庭等、施設開放を行い、施設設備を活用した子育て地域連携を実施)	○	平成11年	—

合併法人現況報告抜粋 和幸園分

社会福祉法人現況報告書
平成 28 年4月1日現在

I 基本情報

所轄庁	市		〒	039 - 3504	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	電話番号	017 - 737 - 3333	FAX番号	017 - 737 - 3332
法人名	社会福祉法人和幸園								
ホームページアドレス	http://www.wakouen.or.jp/		設立認可年月日	昭和38年6月27日		設立登記年月日	昭和38年7月18日		
代表者	氏名	年齢	住所	職業	就任年月日				
	西岡 俊子	公表	66	非公表	なし	平成7年11月21日			

II 事業

社会福祉事業	種類	施設名・事業所名	公表/非公表	所在地	事業開始年月日	定員	実施形態		
							各分野の事業が同一施設(敷地)で実施	全ての事業が同一施設(敷地)で実施	
児童福祉	第一種								
	第二種								
	第三種								
	老人福祉	第一種	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム和幸園	公表	青森市矢田字下野尻48-3	S45.9.1	110	
			特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム大野和幸園	公表	青森市西大野5-16-10	H24.7.10	29	
			軽費老人ホーム	軽費老人ホーム和幸園	公表	青森市浅虫字内野48-1	S38.12.3	60	
			軽費老人ホーム	ケアハウス幸徳	公表	青森市矢田字下野尻48-3	H10.8.1	20	
			軽費老人ホーム	ケアハウス幸福	公表	青森市矢田字下野尻48-2	H16.4.1	29	
			老人短期入所施設	特別養護老人ホーム和幸園	公表	青森市矢田字下野尻48-3	H1.4.1	10	
			老人短期入所事業	特別養護老人ホーム大野和幸園	公表	青森市西大野5-16-10	H24.7.10	10	
障害者福祉	第一種	老人デイサービス事業	デイサービスセンター和幸	公表	青森市矢田字下野尻48-3	H5.10.1	25		
		老人デイサービス事業	デイサービスセンター和幸御事業所	公表	青森市南個1-2-27	H17.4.1	35		
		老人居宅介護等事業	ヘルパーステーション和幸	公表	青森市矢田字下野尻48-2	H10.4.1			
		老人居宅介護等事業	ヘルパーステーション和幸個	公表	青森市南個1-2-27	H26.4.1			
		認知症対応型老人共同生活援助事業	グループホーム千代の郷	公表	青森市矢田字下野尻48-4	H14.3.20	9		
第二種	老人介護支援センター	在宅介護支援センター和幸	公表	青森市矢田字下野尻48-3	H10.8.1				
第三種	障害福祉サービス事業	ヘルパーステーション和幸	公表	青森市矢田字下野尻48-2	H18.10.1				

合併法人現況報告抜粋 和幸園分

種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
1	在宅介護支援センター和幸	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	平成12年4月1日	
1	和幸園ケアセンター	青森県青森市南個1-2-27	平成12年4月1日	
9	和幸園奨学金貸与事業	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	平成28年4月1日	

- 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業
- 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整等を支援する事業

種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
1	特別養護老人ホーム和幸園	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	平成12年4月1日	
1	特別養護老人ホーム大野和幸園	青森県青森市西大野5-16-10	平成24年7月10日	
1	デイサービスセンター和幸	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	平成12年4月1日	
1	デイサービスセンター和幸御事業所	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	平成17年4月1日	
1	ヘルパーステーション和幸	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	平成16年4月1日	
1	ヘルパーステーション和幸個	青森県青森市大字矢田字下野尻48-3	平成27年4月1日	

- 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免
- 地域の民生委員等と連携し、高齢者、障害者、要介護者の支援

合併法人現況報告抜粋 和幸園分

IV 資産管理				平成 28 年3月31日現在				
不動産 の所有 状況	所在地	面積	評価額(千円)	担保提供の状況				
				提供年月日	借入額(千円)	借入先	償還期限	所轄庁の 承認の有 無
土地	青森市大字浅虫字内野48-1	2029.92	12281					
	青森市大字浅虫字内野201-1	199.46	1206					
	青森市大字浅虫字内野50-2	181.78	19743					
	青森市大字浅虫字内野50-4	97.14	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野50-10	302.14	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野50-15	80.09	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野50-17	45.28	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野46-1	642.45	31560					
	青森市大字浅虫字内野46-13	51.36	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野46-4	3.30	5840					
	青森市大字浅虫字内野46-5	3.30	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野48-3	3.30	1068					
	青森市大字浅虫字内野48-4	3.30	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野48-5	3.30	↑に含む					
	青森市大字浅虫字内野48-6	29.75	↑に含む					
	青森市大字浅虫字山下184-4	376.59	3976					
	青森市大字矢田字下野尻48-3	8947.84	44285	H9.11.21	225000	(独)福祉医療機構	H29.11.10	有
	青森市大字矢田字山野井95-2	952.16	4712	H9.11.21	225000	(独)福祉医療機構	H29.11.10	有
	青森市大字矢田字下野尻48-4	1403.40	9000	H16.4.5	104000	(独)福祉医療機構	H36.3.10	有
	青森市大字矢田字下野尻48-2	3757.59	30109	H16.4.5	104000	(独)福祉医療機構	H36.3.10	有
青森市南側1-4-2	684.02	41500						
青森市西大野5-16-9	1080.29	106899	H24.7.17	230000	(独)福祉医療機構	H44.8.10	有	
青森市西大野5-16-10	1209.42	↑に含む	H24.7.17	230000	(独)福祉医療機構	H44.8.10	有	
建物	青森市大字浅虫字内野48-1	2867.43						
	青森市大字矢田字下野尻48-3	5790.97	1438185	H9.11.21	225000	(独)福祉医療機構	H29.11.10	有
	青森市大字矢田字山野井95-2	348.38	88106	H16.4.5	104000	(独)福祉医療機構	H36.3.10	有
	青森市大字矢田字下野尻48-4	1548.72	343706	H16.4.5	104000	(独)福祉医療機構	H36.3.10	有
	青森市大字矢田字下野尻48-2	98.54	18351	H19.12.28	104000	(独)福祉医療機構	H36.3.10	有
	青森市南側1-4-2	672.00						
	青森市西大野5-16-10	1796.24	436514	H24.7.17	230000	(独)福祉医療機構	H44.8.10	有

合併法人現況報告抜粋 和幸園分

土地	青森市大字久栗坂字久栗坂山1-153	2390	↑に含む					
	青森市大字久栗坂字久栗坂山1-158	892	↑に含む					
	青森市大字久栗坂字久栗坂山1-19	998	↑に含む					
	青森市大字久栗坂字久栗坂山1-21	773	↑に含む					
	青森市大字久栗坂字久栗坂山1-22	499	↑に含む					
	青森市大字久栗坂字久栗坂山1-409	13	↑に含む					
	青森市中央3-20-39	3000.45	85020					
	青森市大字浅虫字内野50-10	387.51	4738					
	青森市大字矢田字下野尻43		522					

合併法人現況報告抜粋 和幸園分

平成 27 年度の法人の経営状況 (総括表)

1. 法人単位の資金収支の状況

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	114,935
①事業活動収入	1,171,720
・介護報酬等の公費(※)	916,485
・利用者負担金(※)	247,546
・その他収入	7,689
②事業活動支出	1,056,785
・人件費支出	796,635
・事業費支出	187,326
・利用者負担軽減額	689
・その他支出	72,132
(2)施設整備等資金収支差額	▲123,327
①施設整備等収入	0
・施設整備補助金等の公費	0
・その他収入	0
②施設整備等支出	123,327
(3)その他の活動資金収支差額	▲17,048
①その他の活動収入	3,466
②その他の活動支出	20,514
当期末資金収支差額	▲25,439
前期末支払資金残高	465,604
当期末支払資金残高	440,165

(※)医療事業収入分を除く。(社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。)

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2. 法人単位の事業活動の状況

項目	金額(千円)
(1)サービス活動増減差額	56,893
①サービス活動収益	1,164,061
②サービス活動費用	1,107,168
減価償却費	94,562
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲46,990
その他サービス活動費用	1,059,596
(2)サービス活動外増減差額	894
①サービス活動外収益	11,125
②サービス活動外費用	2,184
(3)特別増減差額	▲14
①特別収益	0
②特別費用	▲14
当期活動増減差額	65,818
前期繰越活動増減差額	1,116,828
当期末繰越活動増減差額	1,182,647
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	16,600
次期繰越活動増減差額	1,166,047

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3. 法人単位の資産等の状況

項目	金額(千円)
(1)資産の部	3,114,070
①流動資産	471,602
②固定資産	2,642,467
(2)負債の部	383,747
①流動負債	118,137
②固定負債	265,609
(3)純資産の部	2,730,323
減価償却累計額	1,476,909

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

合併法人現況報告抜粋 和幸園分

4. 積立金の状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	本年度末時点の積立金額(千円)	積立計画の有無	積立目標額(千円)	施設整備の場合		
					整備事由	整備時期	整備対象施設名
施設整備等積立資産	軽費老人ホーム和幸園の改築費用	162000	○	300000	建替	H30	軽費老人ホーム和幸園
施設整備等積立資産	ケアハウス幸徳の大規模修繕費用	25700	○	25000	大規模修繕	H30	ケアハウス幸徳
施設整備等積立資産	ケアハウス幸陽の大規模修繕費用	13000	○	20000	大規模修繕	H35	ケアハウス幸陽
人件費積立金	将来における業績悪化に伴う人件費の確保	6300	○	8000			

6. 地域の福祉ニーズへの対応状況

事業概要	実施の有無	事業開始年度	本年度支出額(千円)
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免	○		689
2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施	○		-
3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施	○		-
4 災害時における各種支援活動の実施	○		-
5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施			
6 他法人との連携による人材育成事業	○		-
7 その他 (軽費老人ホームにおける少額年金受給者の利用料軽減制度)	○	平成26年度	3,040

(注)「本年度支出額」については、当該事業に対する費用として、明確に算定出来る場合に限り記載しており、明確に算定出来ない場合は「-」を記載している。

H28/07/01 私達は合併し新しい和幸園になります



<http://www.wakouen.or.jp/>

<http://www.aomori-wako.com/>

社会福祉法人 和幸園

特別養護老人ホーム和幸園（矢田）
デイサービスセンター和幸（矢田・佃事業所）
ヘルパーステーション和幸（矢田・佃事業所）
グループホーム千代の郷（矢田）
居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター
在宅介護支援センター和幸（矢田）
和幸園ケアセンター（南佃）
ケアハウス幸徳（矢田）
地域密着型特定入居者生活介護
ケアハウス幸陽（矢田）

軽費老人ホーム和幸園（浅虫）
地域密着型介護老人福祉施設
特別養護老人ホーム大野和幸園（西大野）
青森市委託事業
東青森地域包括支援センター（南佃）

認可保育所
和幸保育園（長島・新町）
地域子育て支援センター（長島）
一時預かり事業（長島）

まちなか分園という選択

- 地上1階に新たな乳児室を設け、3階乳児室の利用定員を制限し、安心・安全な乳児保育環境、避難体制確立を目指す
- 190名定員、築43年のまちなか保育所として、移転・改築時の代替え施設軽減につながる外出し施設の分園化を検討
- 中心商店街活性化参画を目指しまちなかエリアのテナント分園を検討
- 6月以降の乳児専用枠の確保を目指す

中新町まちなか乳児室(分園) 設置

中心商店街の14階建てマンションのテナント1階部分に分園を設置

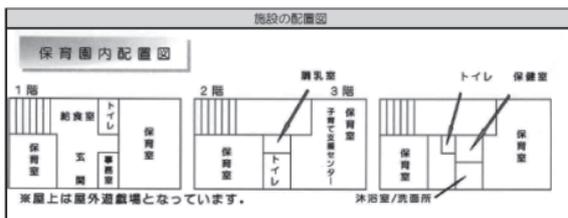
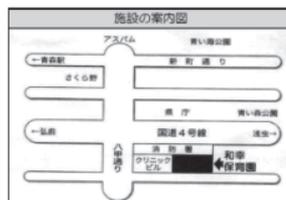
- 本園
0歳15名 1歳～5歳各30名 計165名
- 分園
0歳35名 合計200名

190名定員から200名へ規模変更を実施

0歳児50名定員のうち20名を4月以降の年度途中生まれ専用枠として6月以降入所に備えるものとした

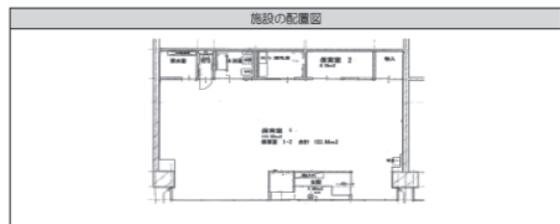
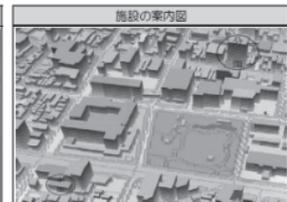
和幸保育園	〒 030-0861 所在地 青森市長島二丁目1番12号 TEL 017-776-4826 FAX 017-776-1940 017-776-1924 ホームページ http://www.somori-wako.com/ http://nttbjito.ne.jp/0177764826/index.html
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

設置年月日(改築年月日)	設置主体	施設長
設置 昭和 42 年 9 月 1 日 改築 昭和 48 年 12 月 28 日	社会福祉法人 和幸園	今村 良樹
敷地面積 765.37 m ² 園庭面積 663.32 m ²	保育方針	
当園の保育方針は、「法人の理念」「保育の理念」「保育所保育指針」に反映し、すべての人々に分け隔て無く公平・平等に、人権を尊重し、プライバシーを保護することを中心に据え、利用者の意見と要望に基づき、報告と説明に努め、別に定める「保育目標」達成に誠心誠意取り組みを基本とする。		
≪保育目標≫		
すこやかにやを生き、かぶよく未来を生きることを育てる		
≪めざす子ども像≫		
・文末で自分の体を大切にすること ・自分で考えて行動する子ども ・友達と力をあわせよく遊ぶ子ども ・人の気持ちのわかる子ども ・豊かに感じて表現する子ども		
建物構造 鉄骨造り 陸屋根 4階建一部塔屋		



和幸保育園 中新町まちなか乳児室 (分園)	〒 030-0861 所在地 青森市新町二丁目6番13 TEL 017-752-1445 FAX 017-752-1445 ホームページ http://www.somori-wako.com/ http://nttbjito.ne.jp/0177764826/index.html
--------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

設置年月日(改築年月日)	設置主体	施設長
設置 平成 28 年 8 月 1 日	社会福祉法人 和幸園	今村 良樹
敷地面積 1044.07 m ² 園庭面積 0 m ²	分園について(中新町まちなか乳児室(分園))	
本園新町二丁目6番13 ポリスター新館3F 1階1に、全園にも馴染み深いまちなか乳児専用分園として3Fを改築で開設しました。まちなかの乳児専用分園。50年以降の乳児保育、青森市のまちなか保育所のノウハウを活かし、分園一体となった保育を行います。		
本園(青森市)・青森市の中心地区に、年度途中から不足する0歳児入園可能な乳児室を確保、産休・育休明けの保護者と赤ちゃんの支援をさせていただきます。		
人口減少、ドーナツ化がすすむなか、中心街活性化に子育て支援拠点を選んでお手頃な環境を整えていきます。		
建物構造 鉄筋コンクリート14階建て		



保育園

青森市街地に 働く女性の子育て後押し / 青森

毎日新聞 2016年8月9日 地方版



青森市街地の新町通りに開設した保育施設
＝青森市新町2で

青森市中心市街地で8日、0歳児の保育施設「和幸保育園分園 中新町まちなか乳児室」が開園した。市街地にある土地や建物の所有者と社会福祉法人をつなぎ、民有地に保育施設を開設する県の「民有地マッチング事業」で、今回が契約成立第1号。県は利便性の高い市街地やオフィス街に保育施設を開くことで、働く女性の子育てを後押しする。

開設したのは、社会福祉法人「和幸園」が運営する認可保育園の分園。同市新町2丁目のマンション1階に入る。定員35人で19人が保育園から移動した。9月1日以降に残りの16人

を募集する。

県によると、待機児童は昨年度当初にゼロだったが、年度途中で市部を中心に増え、昨年10月時点で137人となった。育児休暇明けの保育需要に対し、施設の乳児定員が少ないうえ、市街地など特定の地域の施設を希望する保護者が多いことが要因という。

県は今年3月から市街地にある空き店舗などを保育施設としたいという所有者を募集。土地と建物それぞれ2件ずつ応募があり、うち1件が今回の契約につながった。

保育園の今村良司園長は「市街地に子供がいることで活気も出てくる。市のまちづくりとも連動できれば」と話す。県の担当者も「好事例として県内に広めたい」と意気込んだ。【宮城裕也】

【まとめ】

地域と共に、地域のために

- 人口減少・流出、少子高齢化、中心街の空洞化、ドーナツ化現象が進む地方都市にとって、社会福祉法人による福祉サービスの充実、福祉インフラの確保は、地方に人を集め留める要件となる。
- また保育施設は、朝夕、毎日、一定の人の流れを作る。それらは街の新たな人の流れを作る。
- 福祉施設は利用者のみならず故郷の就労場所でありその家族の生活を支える場所でもある。

【まとめ】

地域と共に、地域のために

- 福祉拠点は人が集うターミナルであり、人育ち、人育て、人暮らしの場でもある。
- 児童福祉分野に多い小規模法人は、小回りがきき、細かな対応が可能という利点がある。しかし、財政基盤が安定性に欠いたり、人材確保や育成、福祉インフラに不安がつきまとう。そんな小規模法人は弱点の解決策として他法人と連携・協働、又は経営統合、合併も選択肢のひとつとして検討すべきである。

【まとめ】

地域と共に、地域のために

- 多くの地方都市では、人口減少・流出、高齢化、空洞化などで自治体自体の存続が課題となっている。そんな故郷を守るカギになるのが、各地域に根を張って人と人のターミナルとなっている福祉施設なのではないだろうか。地域の個人商店がショッピングモール出店やコンビニ化、合併や経営統合生き残ってきたように、社会福祉法人も連携・協働・合併等で弱点を補い、地域を支える事が必要なのではないだろうか。